

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	二酸化炭素資源化反応の新展開
研究代表者	岩澤 伸治 (東京工業大学・理学院・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、二酸化炭素を炭素資源として有機合成に有効利用するための新規手法の開発を目的としている。これまで応募者は、世界に先駆けて炭素-炭素多重結合のヒドロカルボキシル化や、炭素-水素結合のカルボキシル化の新規触媒系を開発するなど、この分野において世界を先導してきた。本研究はこれらの研究成果を更に発展させるべく、金属協同作用の利用と光エネルギーの利用の二つのアプローチを通じて、二酸化炭素固定化の独創的かつ効率的な触媒反応の開発を提案するものである。挑戦性の高い計画と実現可能性の高い計画が混在しているが、いずれも応募者の強い意欲が感じられるものであり、世界をリードする大きな研究成果が期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>